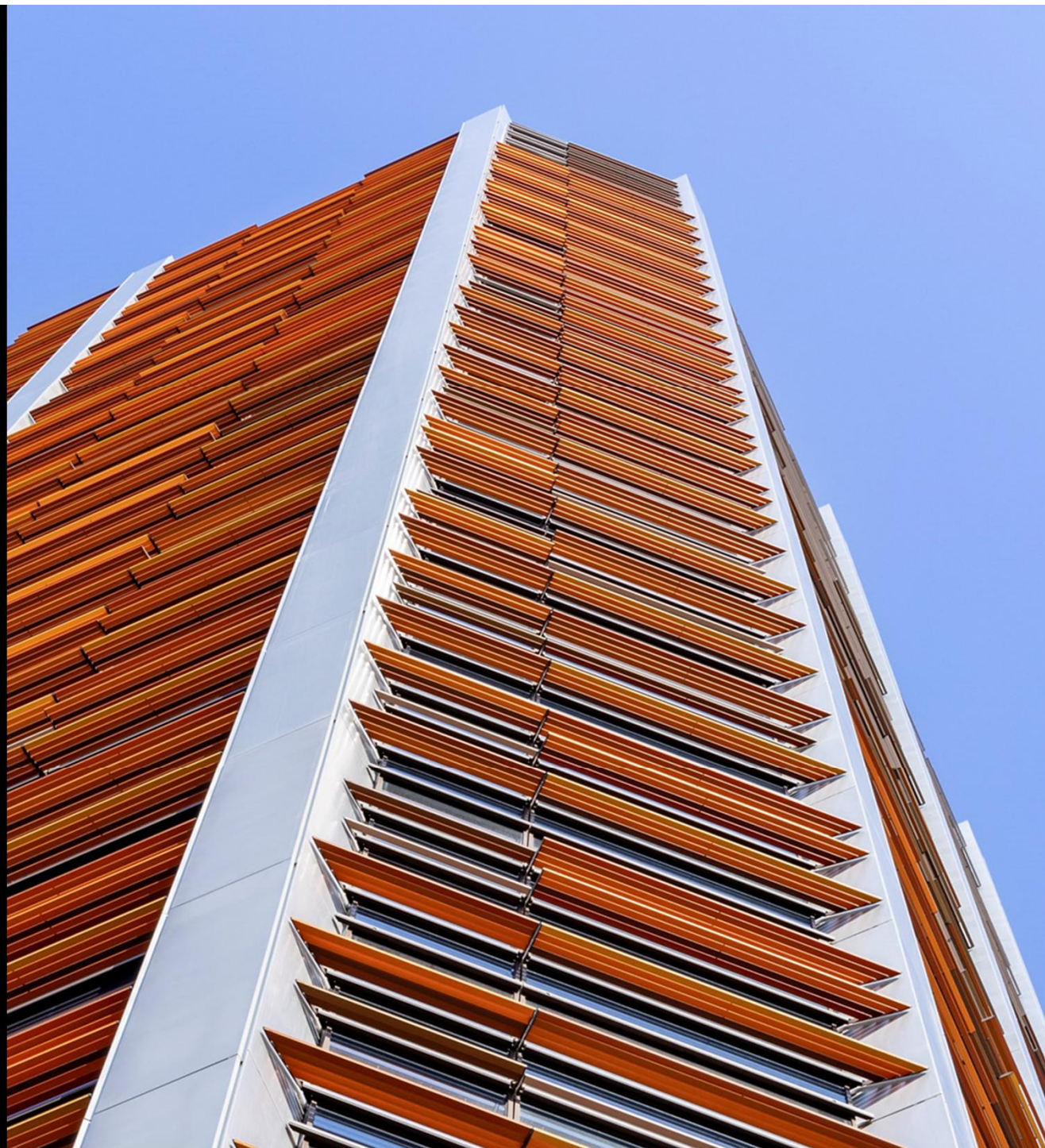


御堂筋ダイビル

周囲の都市環境に呼応する
双方向型ウェルネスオフィスビル

令和6年度
おおさか環境にやさしい建築賞
R3-No -009

NIKKEN



建築概要

所在地

大阪市中央区南久宝寺町4丁目

用途

事務所、物販店舗、自動車車庫

敷地面積

1,491.92㎡

建築面積

1,101.56㎡

延べ面積

20,275.57㎡

構造

鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造

階数

地上20階／地下1階

高さ

97.32m

工事期間

2021年12月16日ー2024年1月15日



ZEB Oriented

事務所部門



Sランク

CASBEE スマートウェルネスオフィス



立地／周辺環境



御堂筋オフィスストリート



「商いのパワースポット」難波神社

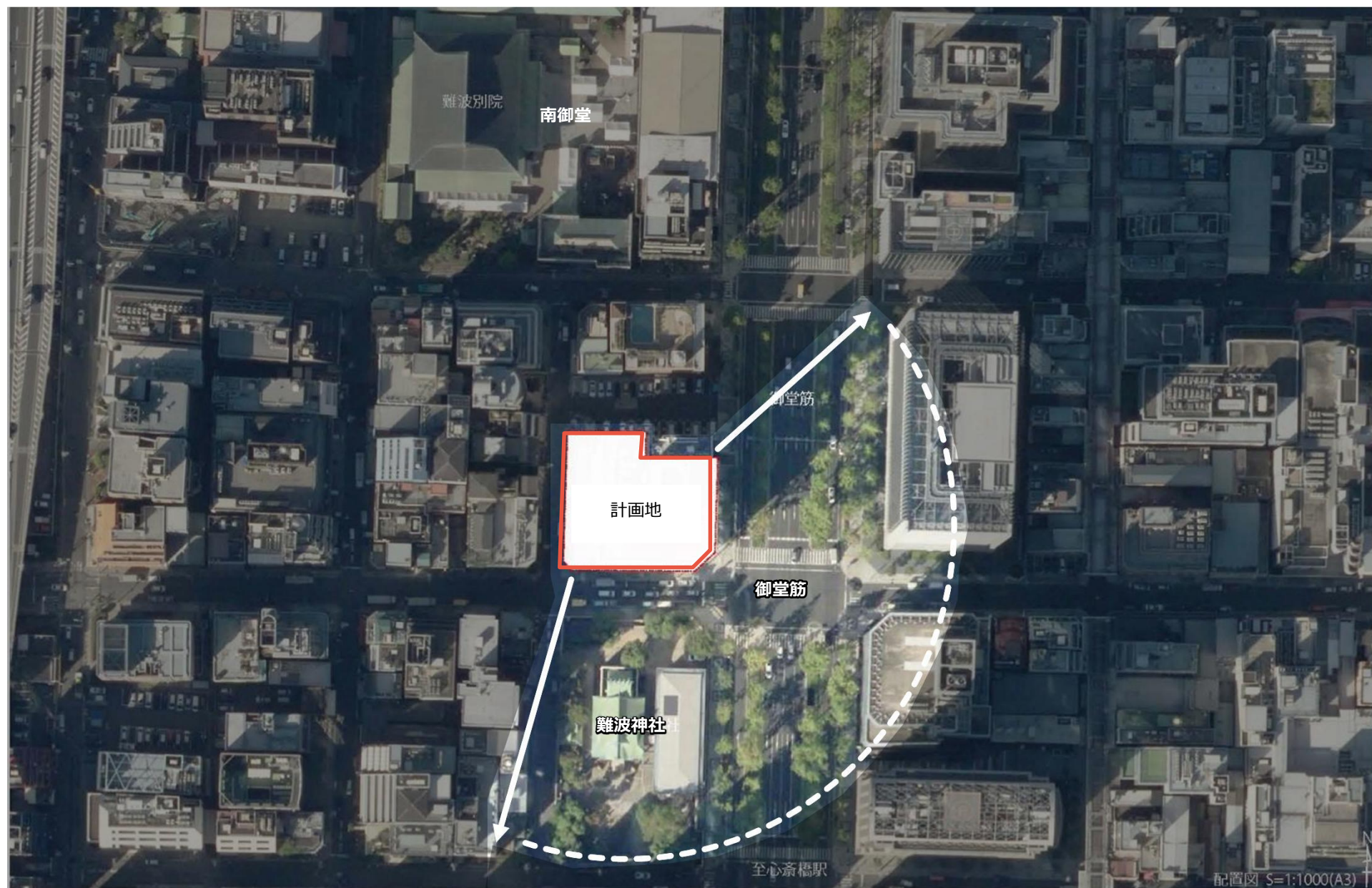


御堂筋ブランドストリート



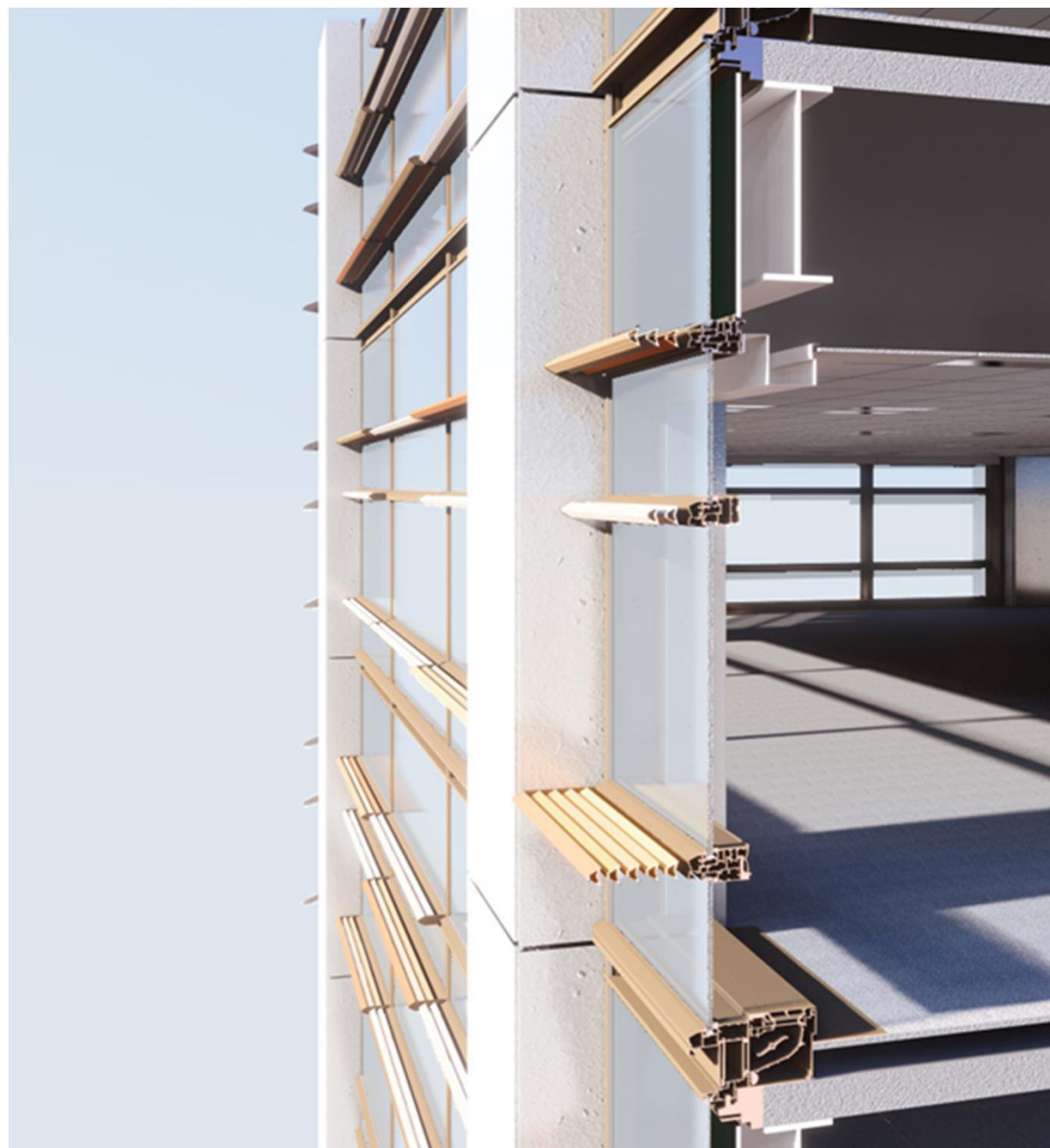
高感度なショップやカフェが軒を連ねる
南船場エリア

立地／周辺環境



01

外装計画



環境性能優先で進化していたら、オフィスの窓はリボンウィンドウに収斂していたはず

眺

?



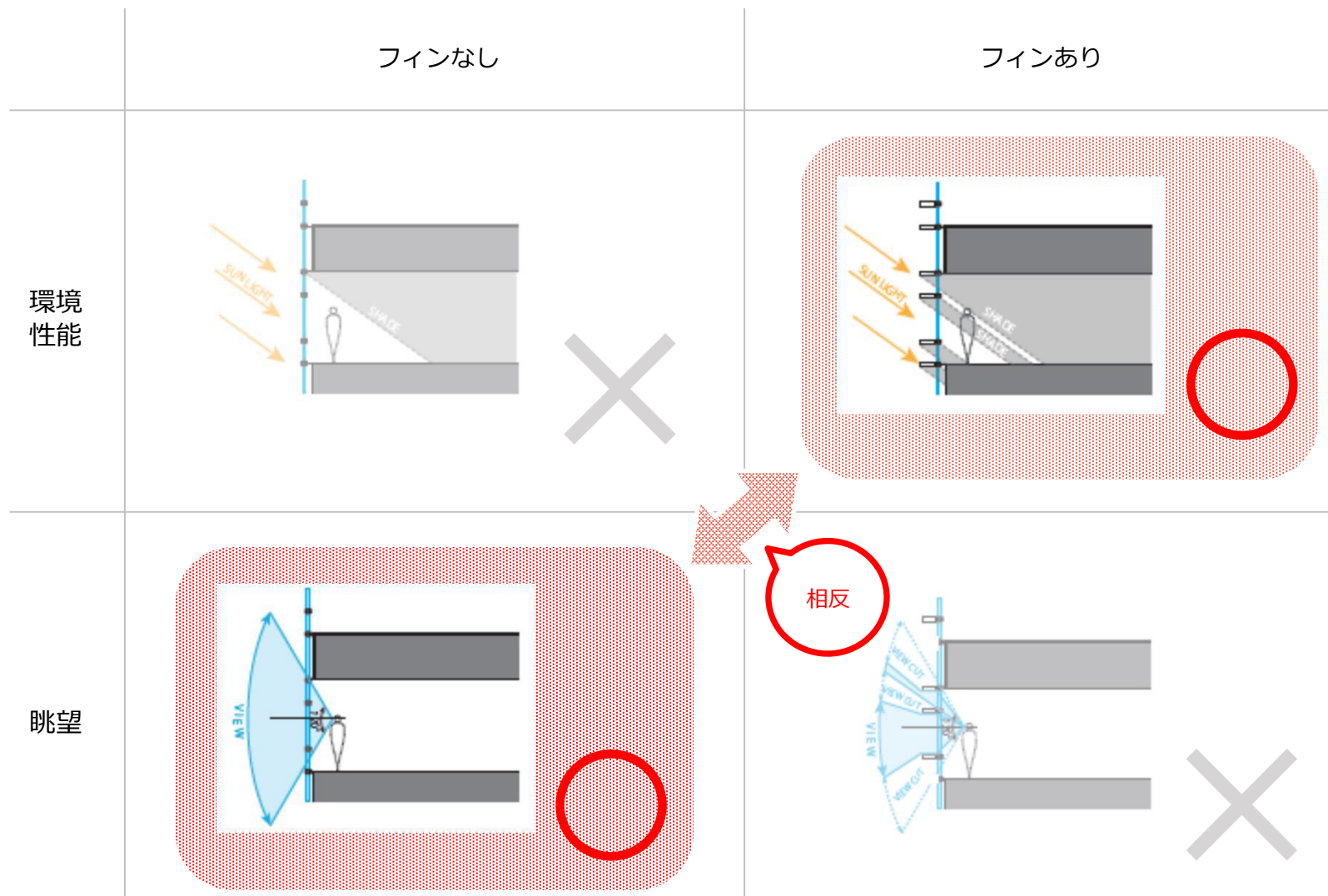
なぜ現在のオフィスは、
フルハイトサッシュが主流となるよう進化したのだろう？

仮説：

眺望（ビュー）を求めるのは、人間の本能からくるもの（=Biophilia）に違いはない
サステナビリティの理知的な理解を上回る、人間の根源的欲求が「ビュー」にはある



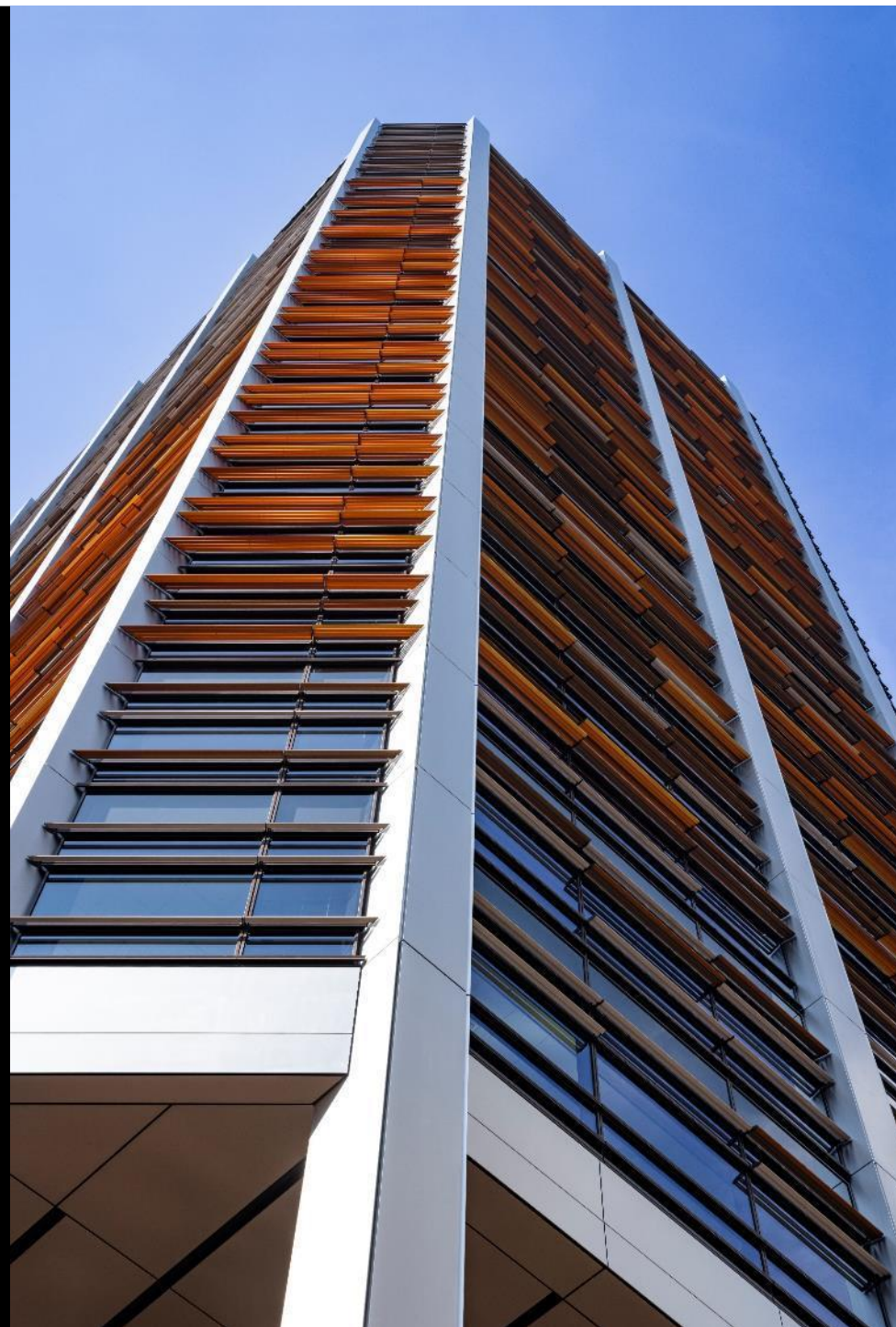
01.外装計画



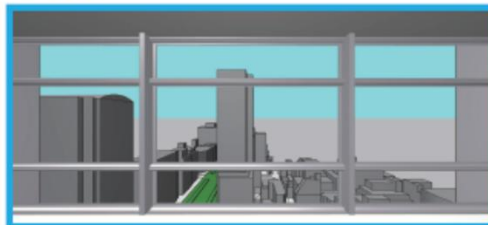
「環境性能」と「眺望」は**相反**の関係

CHALLENGE

「天空率」を応用・発展させた
「天空・緑視率」 による
ワーカー目線の外装デザイン

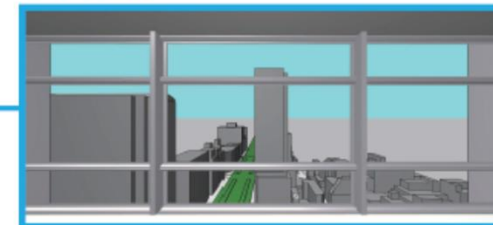


18階 南西



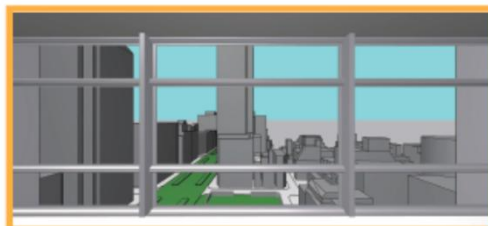
「空」がよく見える

18階 南東



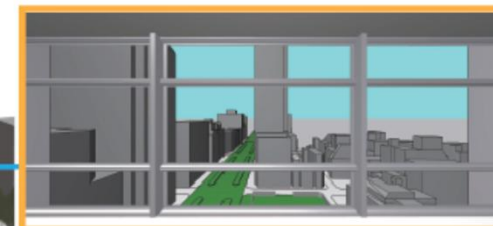
「空」がよく見える

11階 南西



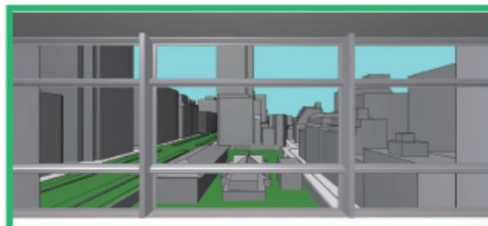
「空」「緑」も少し見える

11階 南東



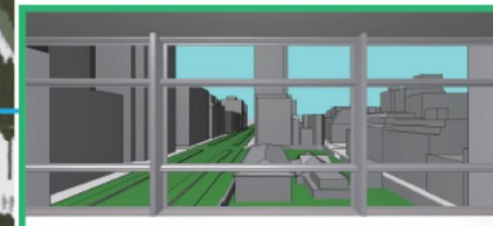
「空」「緑」も少し見える

4階 南西

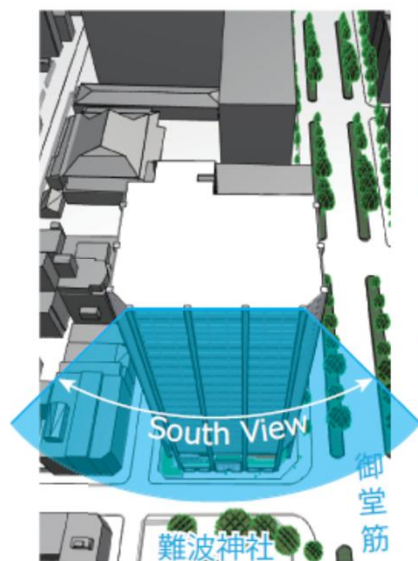


「緑」がよく見える

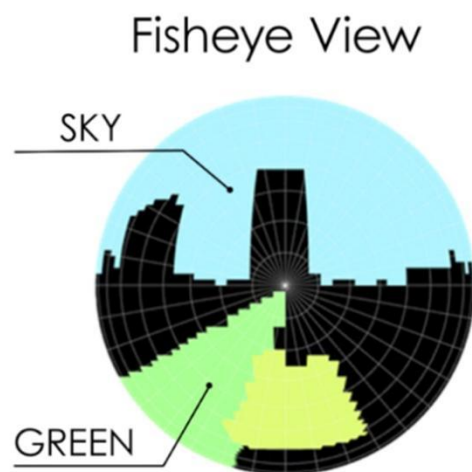
4階 南東



「緑」がよく見える



オフィスからの眺望は場所によって異なる



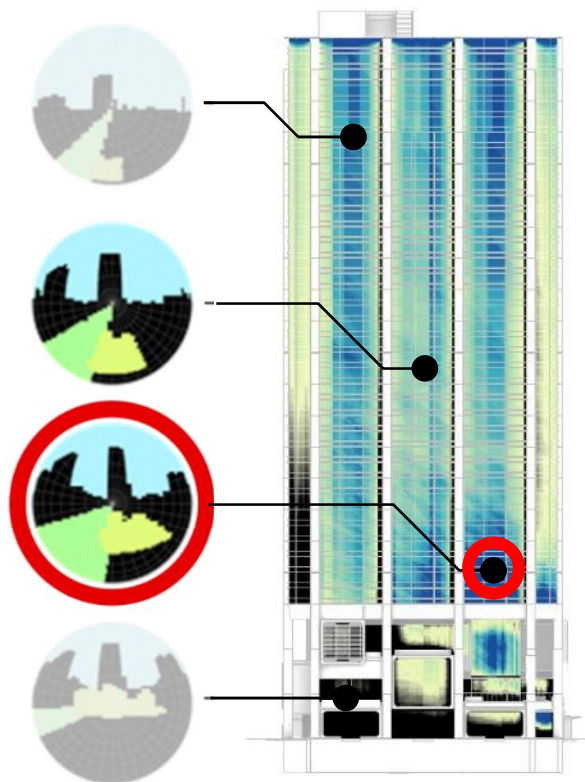
各階・各場所からの「空」「緑」への眺望の多寡を

「天空・緑視率」として評価

Good !

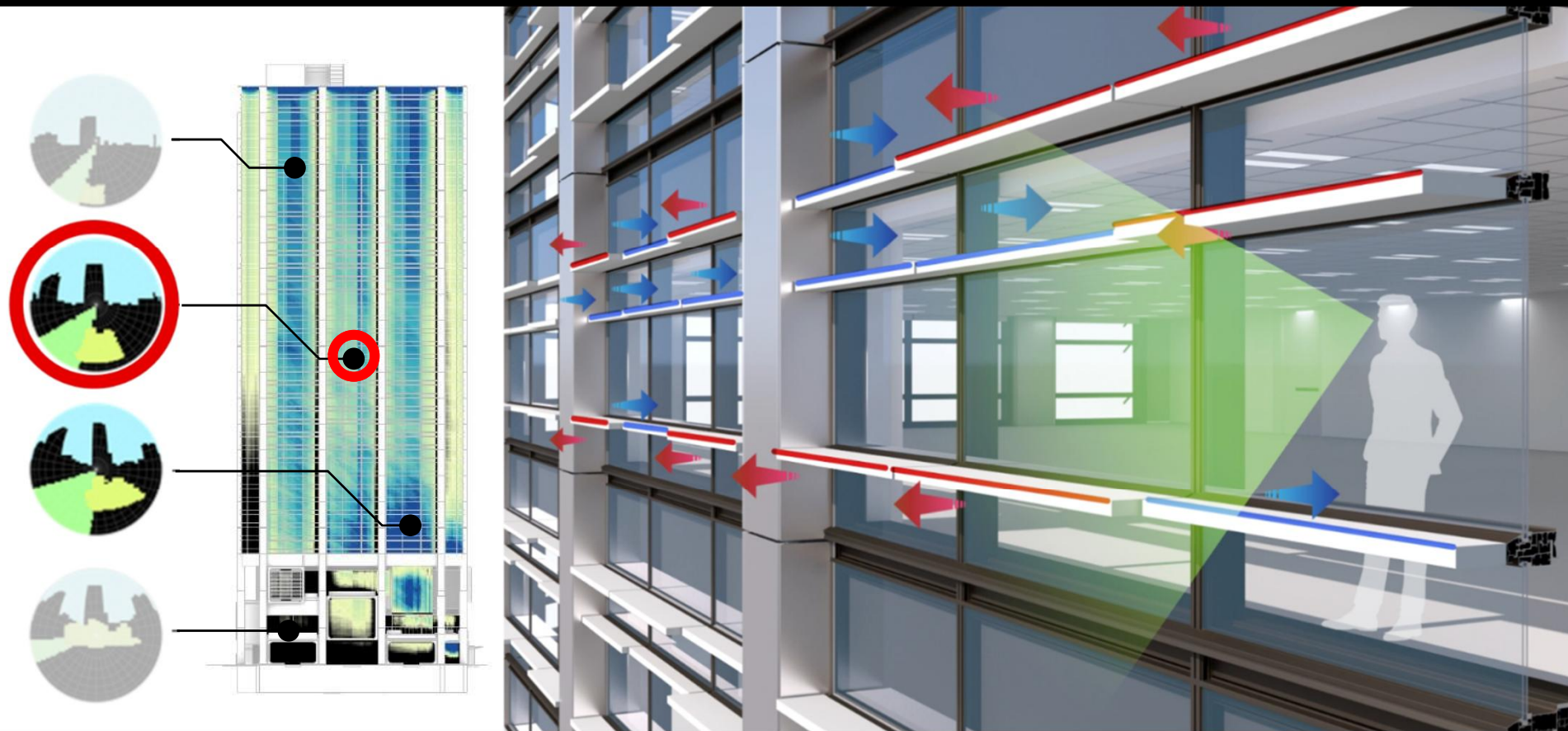


「ビューポテンシャル」 としてマッピング



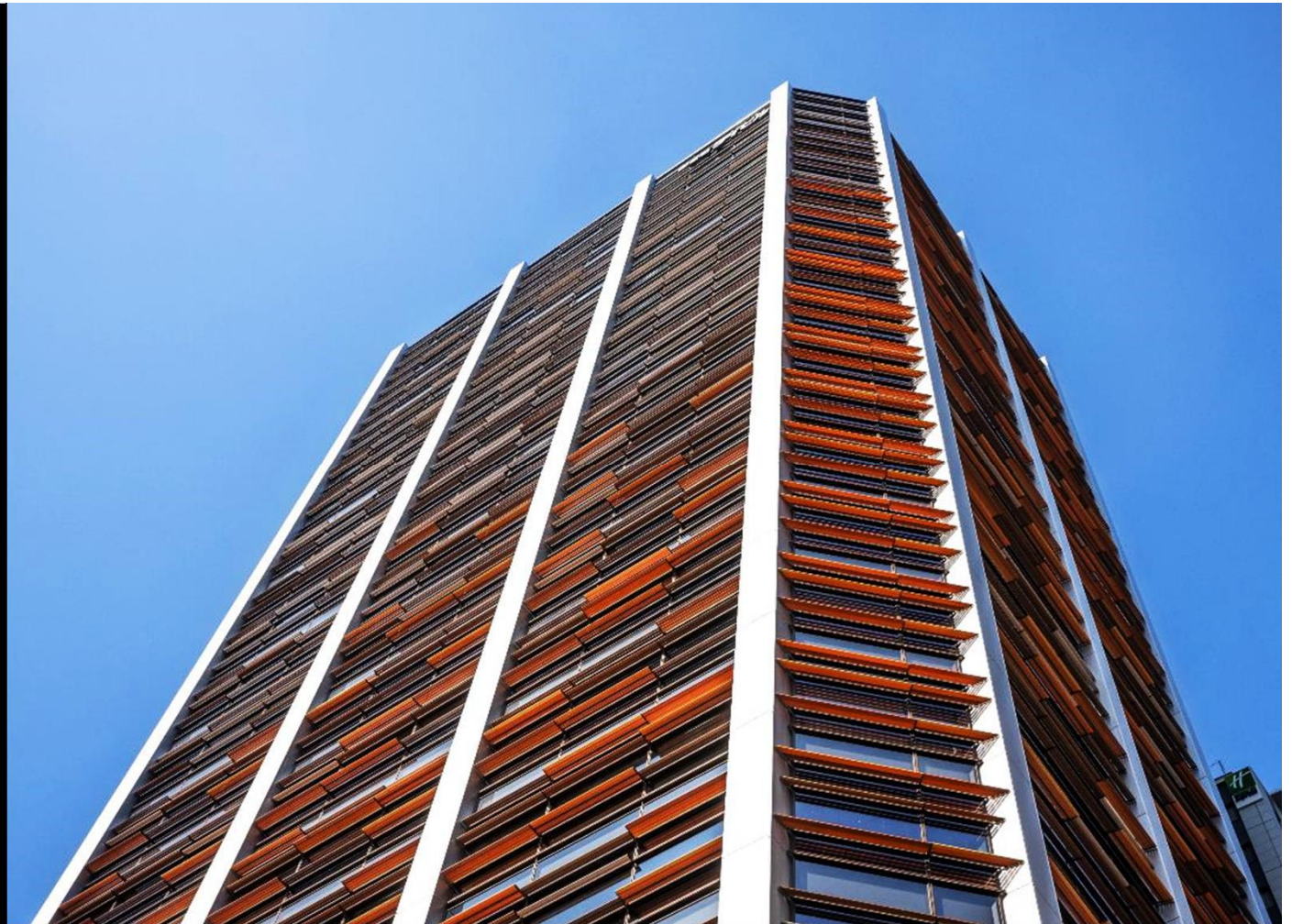
建物として満たすべき環境性能から、外装フィン総量を決定

「天空・緑視率」が高いところは、フィンを減らして「眺望」を優先



建物として満たすべき環境性能から、外装フィン総量を決定

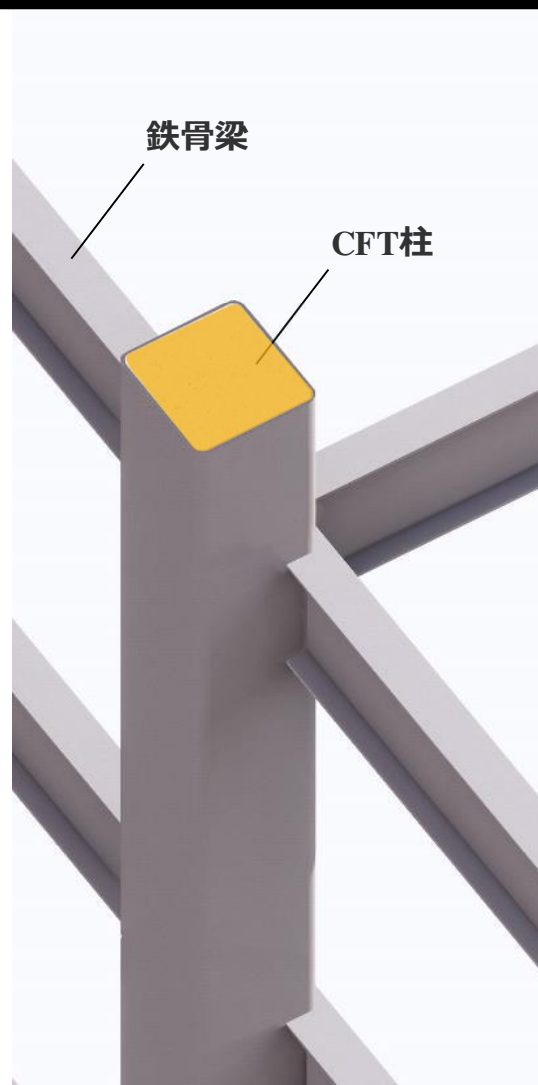
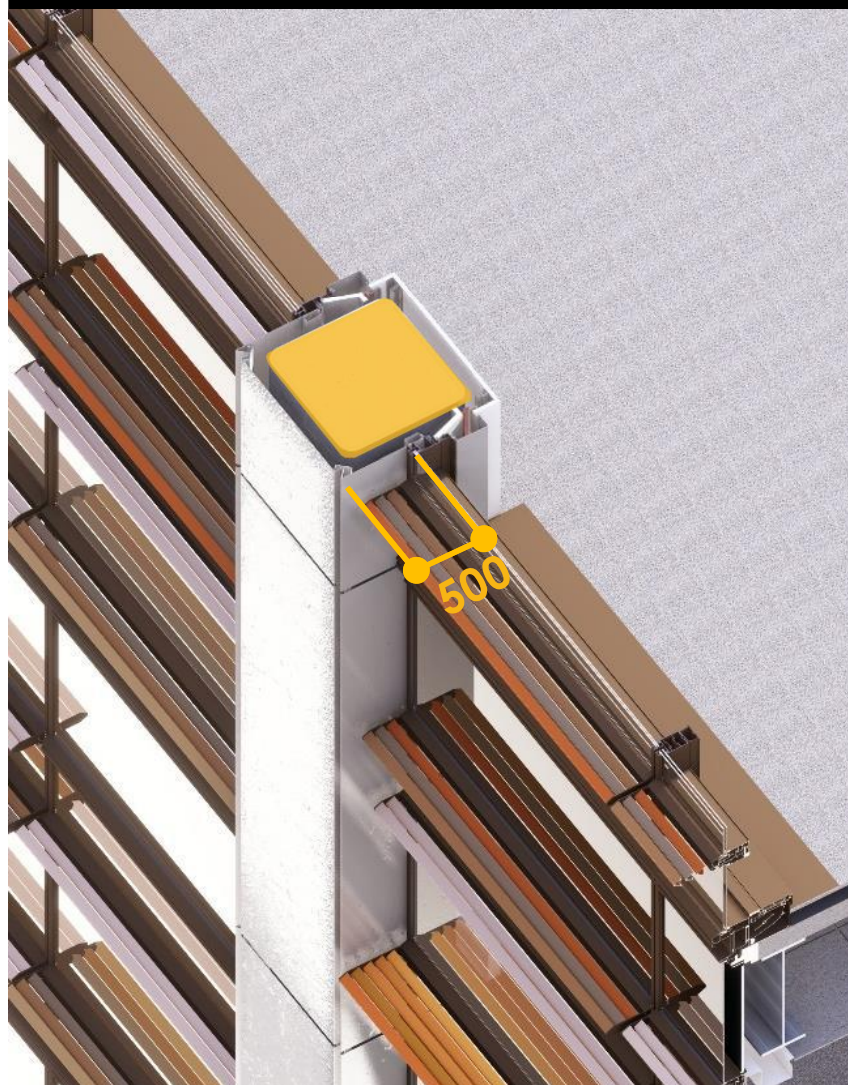
「天空・緑視率」が高くないところは、フィンを増やして「環境性能」を優先



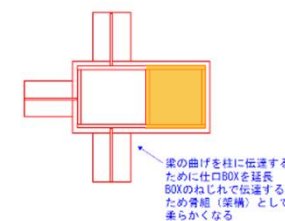
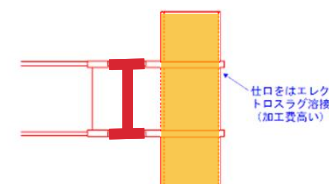
都市の周辺環境を評価・反映した
「リフレクティブ・デザイン」



「日差し」をオフィスの「彩り」に昇華させる
部戸のような外装フィン



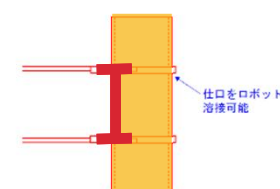
■ 梁完全ずらし



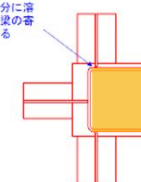
■ 梁寄せ



鉄骨量
10%削減



柱カラムの曲げ部分に溶接できないため、梁の寄せ寸法に限りがある



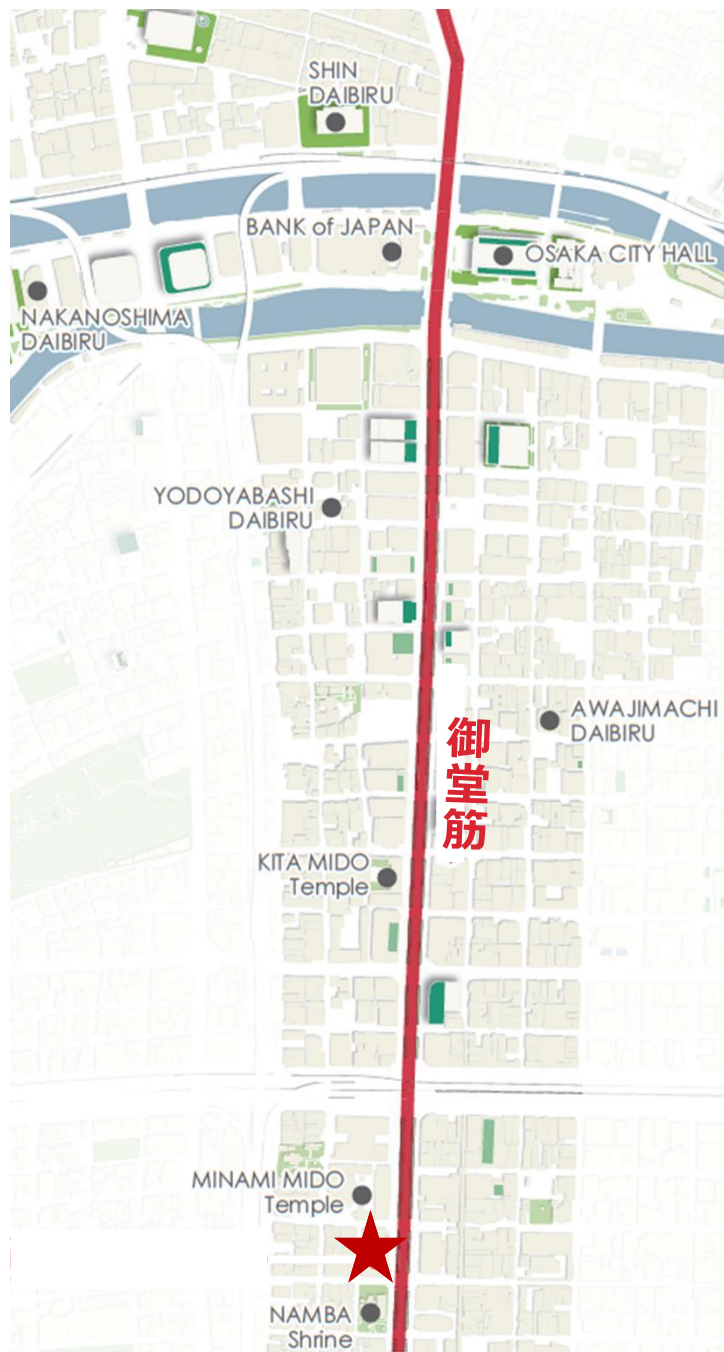
鉄骨量を睨み、「梁寄せ式」を採用

柱先端までの「500mm」で勝負した外装デザイン

02

都市とつながる 立体広場





全面歩道化によるウォーカブルな街を目指す「御堂筋」に面した立地

1964
旧御堂筋
ダイビル

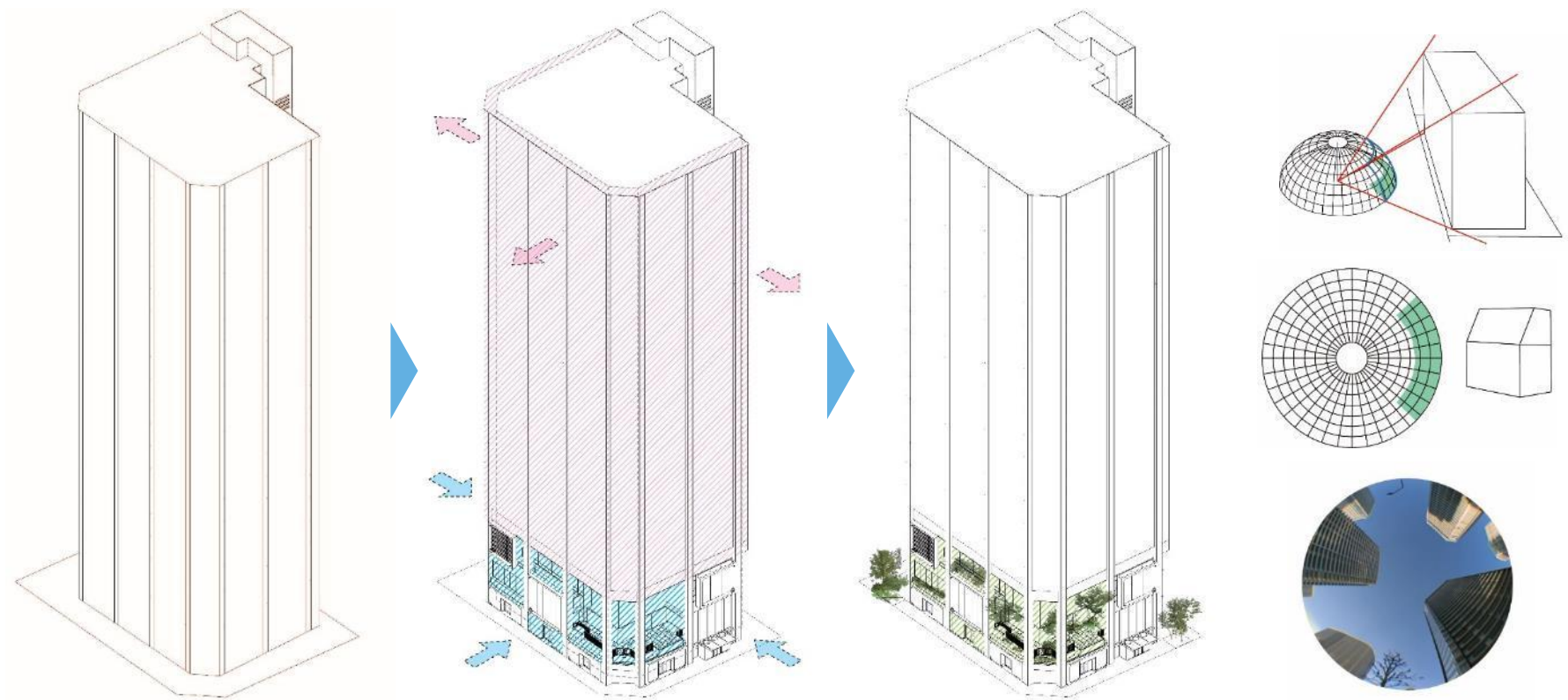


「神社」の背景となり、「旧ビル」はハイテク建築の名作



御堂筋の価値は「2階」にあることを再発見

02.都市とつながる立体広場



基準階オフィス面積最大化のために、天空率を用いて一部「2階をテラス化（外部化）」

02.都市とつながる立体広場



1 階店舗は御堂筋の賑わいのため最大化し、2 階に「御堂筋の栈敷席」となるテラスを設置



ウォークブルな「人」中心の街づくりに貢献する
10年先取りした、オフィス低層部デザイン



エントランスを2階として周辺の緑を建物内に引き込み

「都市とつながる立体的広場」 というオフィス低層部の新たな可能性を追求

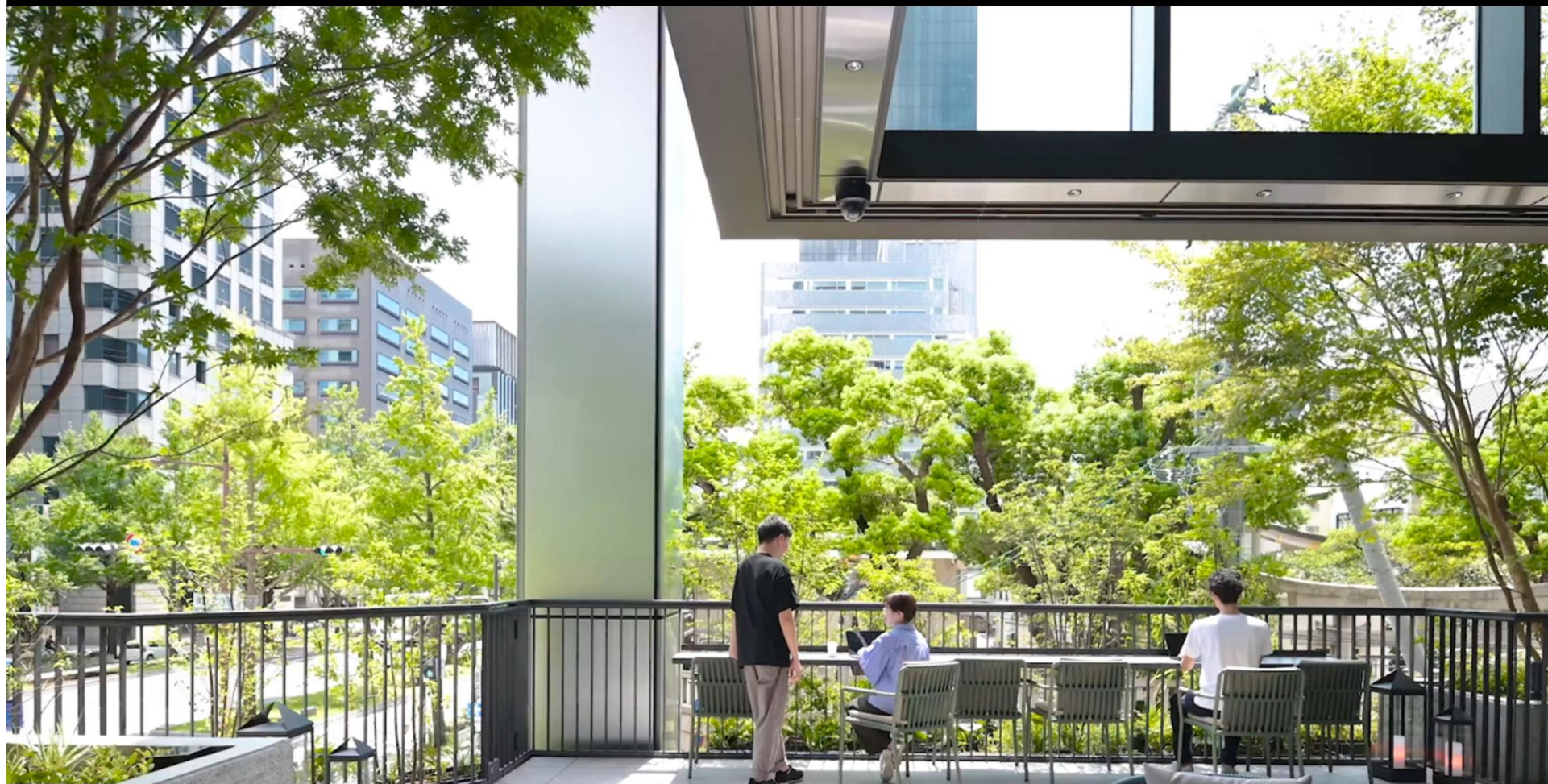
02.都市とつながる立体広場



銀杏並木の価値を1年を通じて最大限享受できる、都市に開放された新しい視点を提供



緑量を感じるテラスと一体となるラウンジ

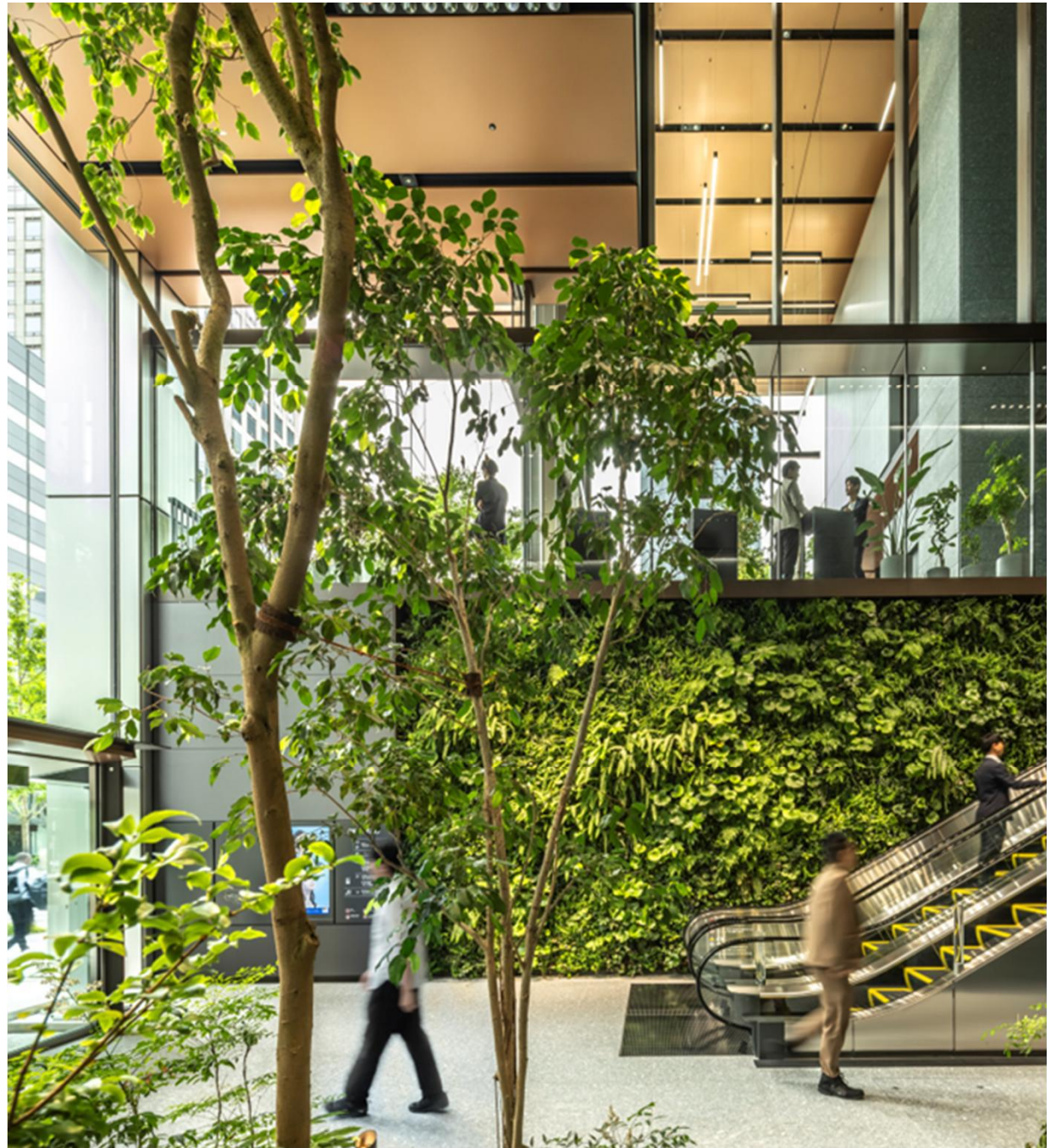


御堂筋と難波神社の緑に包まれる

03

Wellness計画

NIKKEN



03. Wellness計画



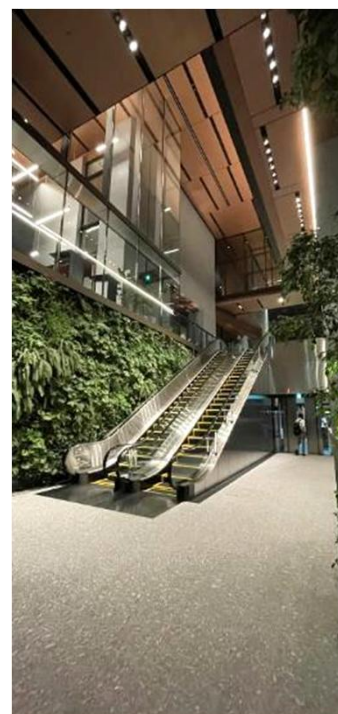
朝



昼



夕方



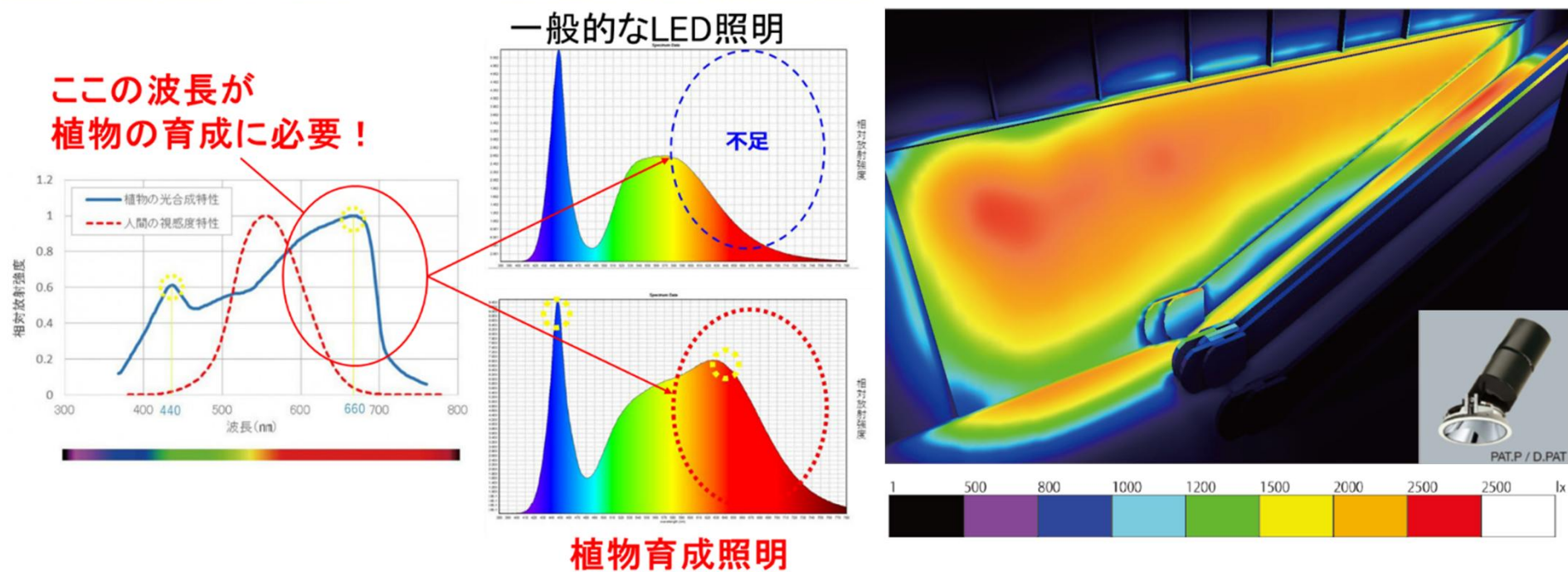
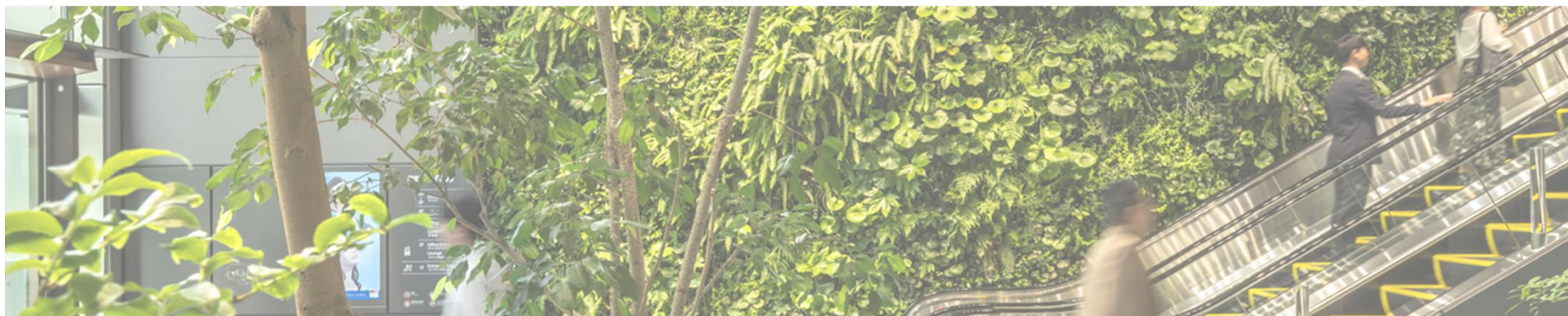
夜



深夜
(御堂筋街灯色)

低層屋内緑化空間の照明は自然光の照度・色温度に合わせた『サーカディアンリズム照明制御』を導入

03.Wellness計画

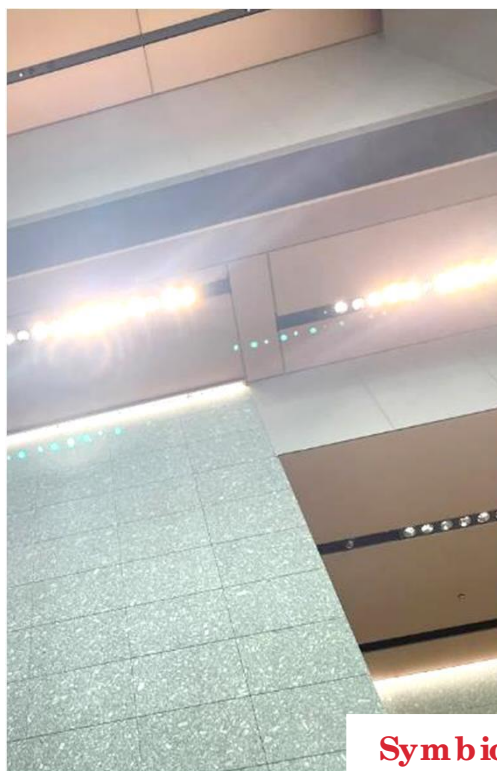


昼光が十分に入らない屋内緑化植物用に、光合成に特化した波長域をもつ『植物育成用照明』を設置

03. Wellness計画



午前中

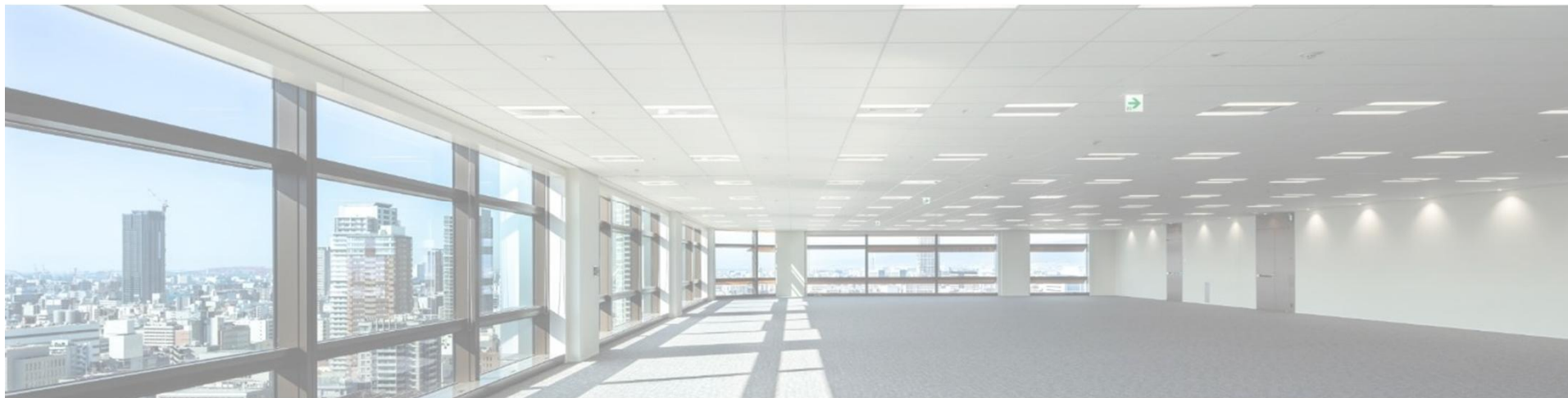


Symbiosis-Lighting



植物育成照明単体は眩しいため、サーカディアンリズム照明制御と調和させ、午前中点灯、利用者の覚醒を促す

03. Wellness計画



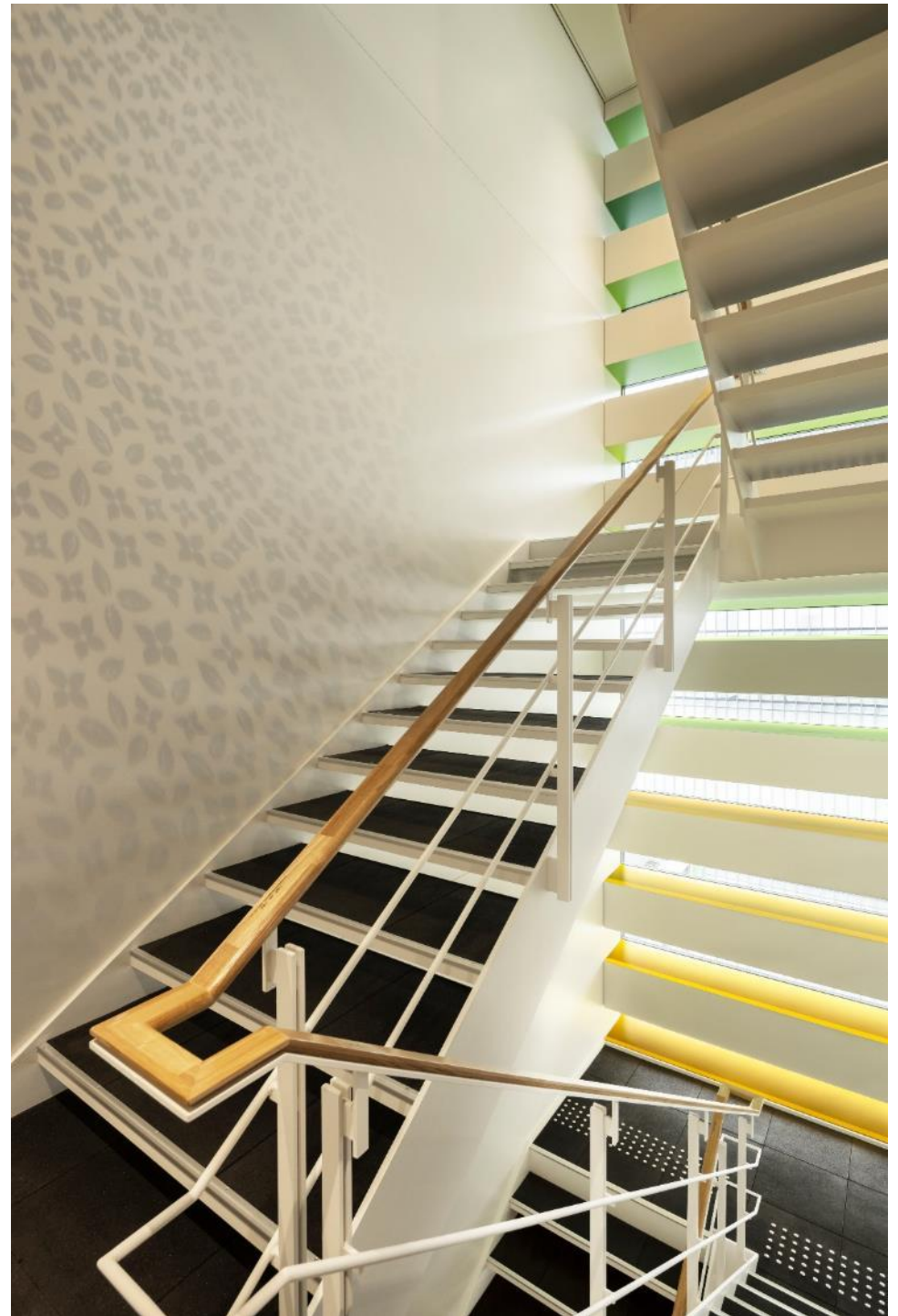
専有部では利用者が自身の端末を利用し照度や空調温度等操作が可能であり、能動的なWellness空間を創出

NIKKEN

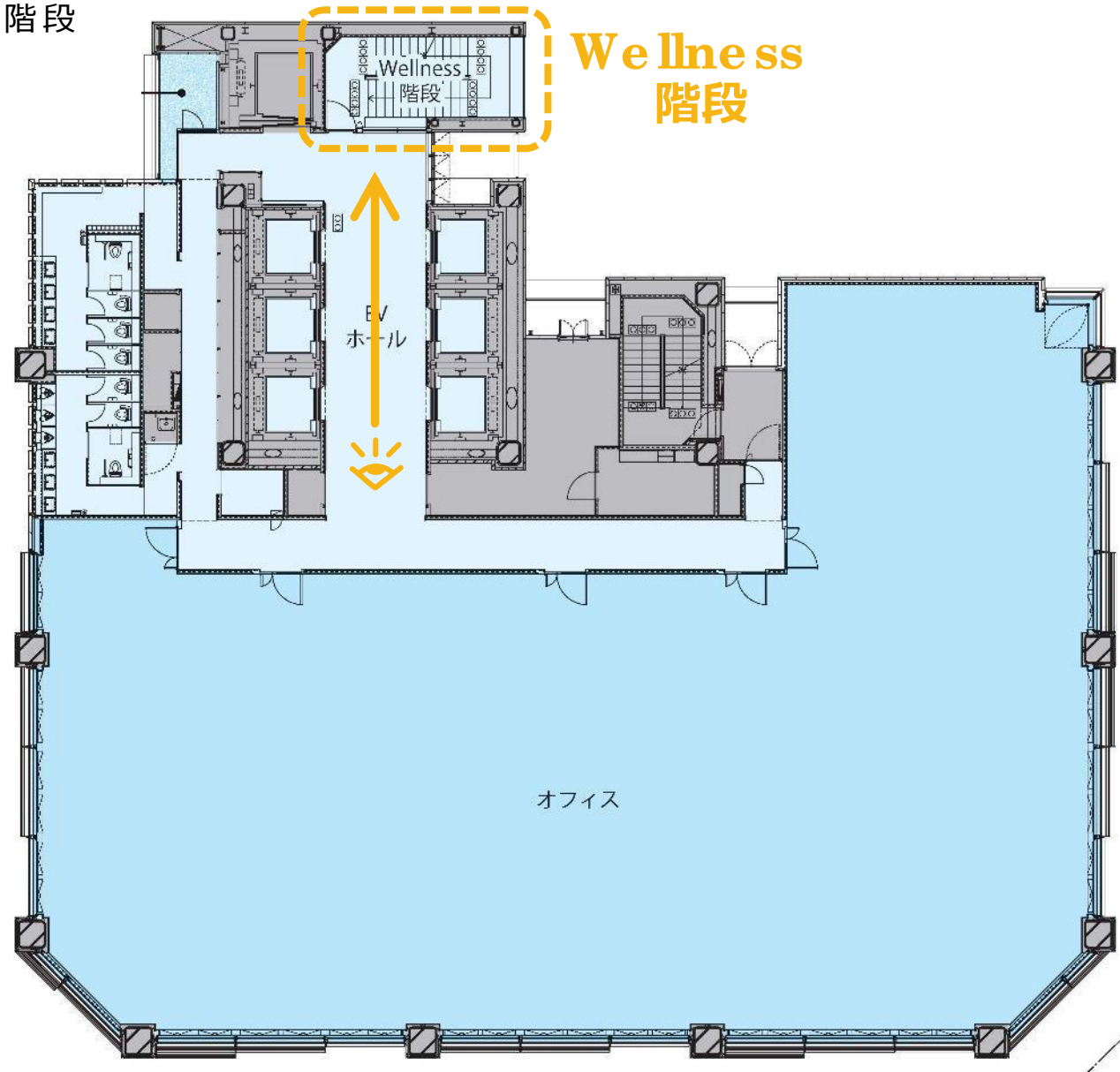
04

Wellness階段

NIKKEN



04. Wellness階段



04. Wellness階段



EVホールに設置され、上下移動を促す配置計画



04. Wellness階段

WELLNESS 階段



木漏れ日

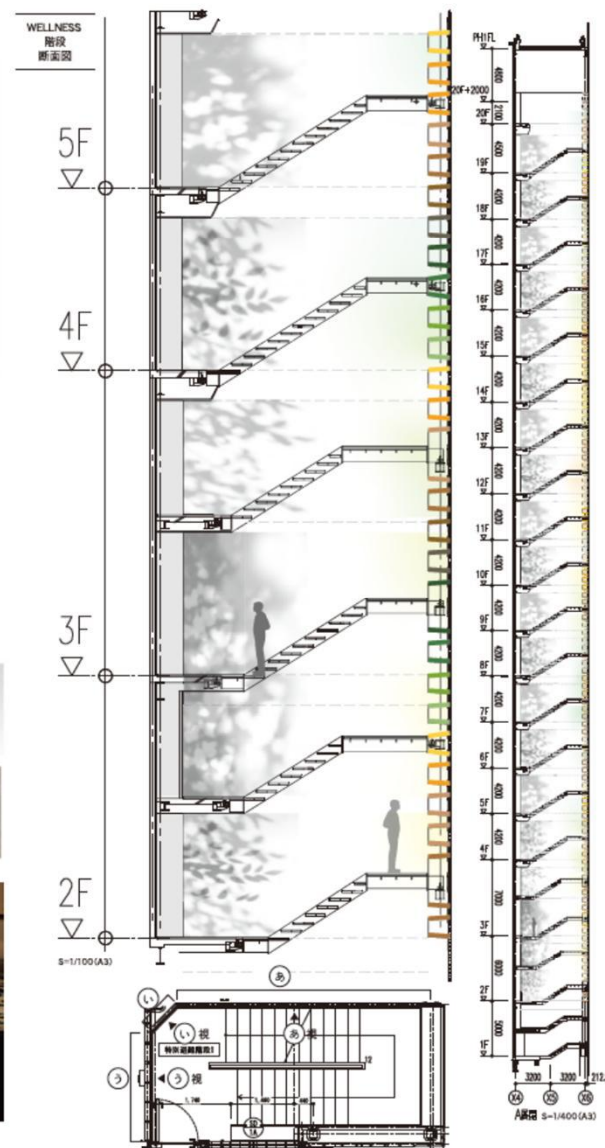
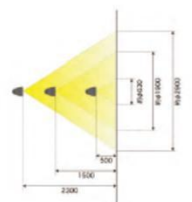
階段にふりそそぐ陽の光と、木漏れ日のシャドウグラフィックスがとけあい、癒しの空間を演出。オフィスと自然の共存をテーマにした階段。



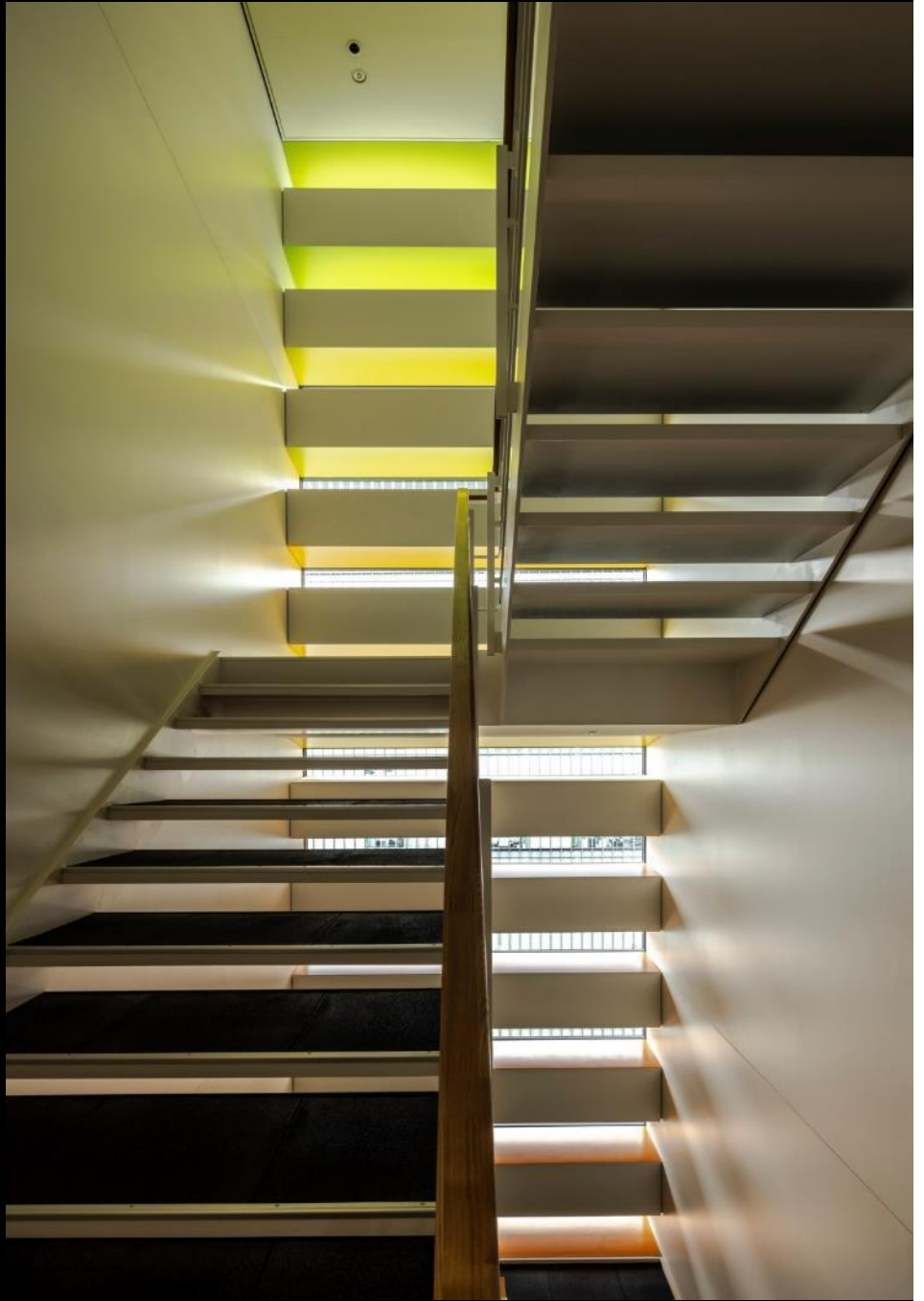
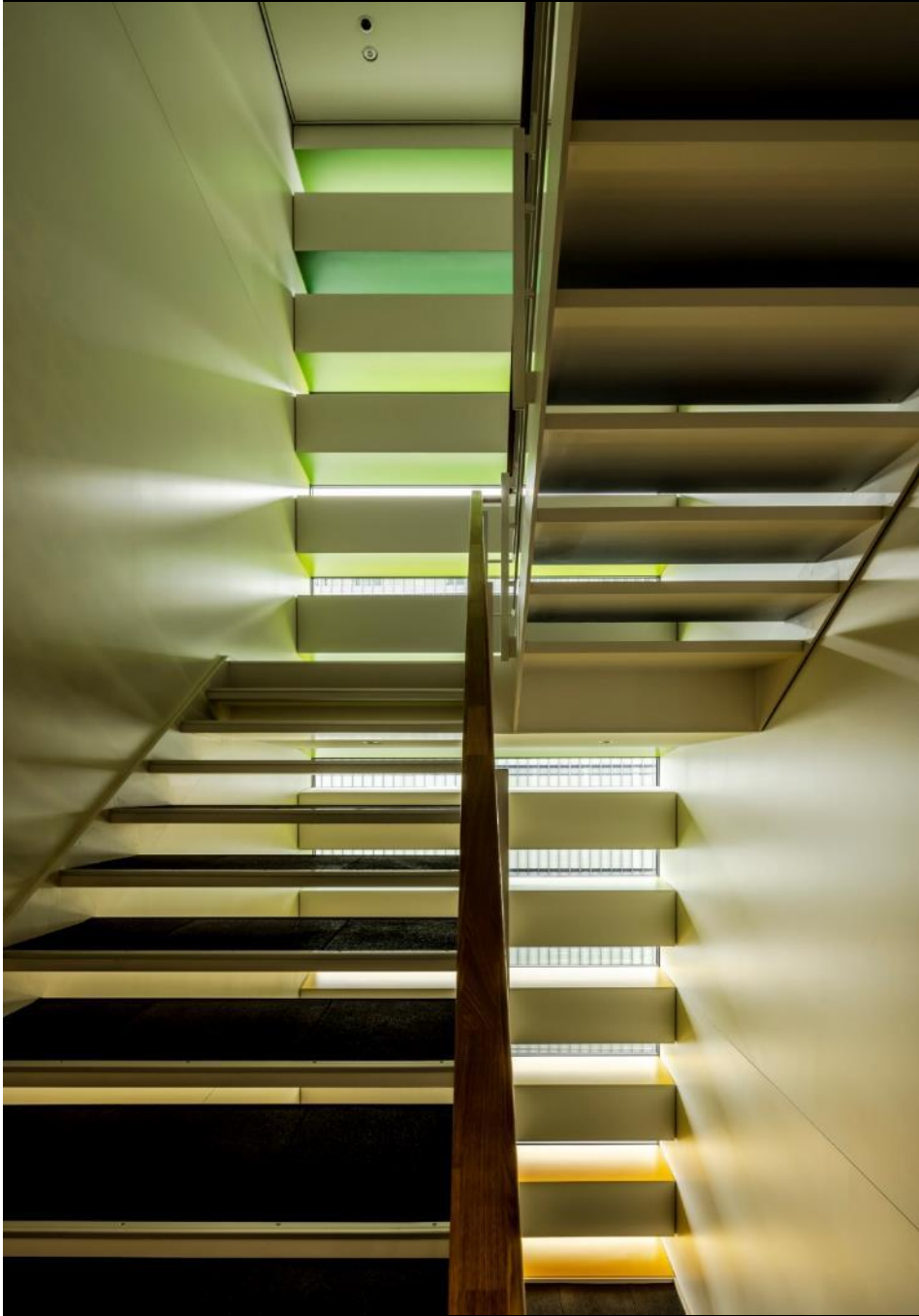
WELLNESS 階段



■ グラフィックスポットライト
を使用し、オリジナルの木漏れ日
照明グラフィックを演出



「降りそそぐ日の光」と「色彩・木漏れ日照明の変化」により、歩いてみたくなる『Wellness階段』



04. Wellness 階段



スマホアプリから階段利用の消費カロリーを確認でき、段数に応じてポイント獲得、2階ラウンジで利用可能

